

【部会の活動—教育相談部会】第34回部会報告

ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) 超入門講座

講師 ・ 飯塚 直也さん (前橋工業高校)

■前回の「ICT と情報教育」を受けて、今回は SNS について学習

(特にフェイスブックとツイッター)

SNSとは、社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスの総称で、ある特定の領域に人を集めることにより、仲間意識を持ったり、同じ趣味、嗜好の人を探したりできるようなネット上の仮想空間のことで、誰もが情報を手軽に発信したり、リアルタイムで情報共有をすることができるもの。東日本大震災で、安否や被災状況、アラブの民主化革命、中国の反日デモなどでこのネットワークが重要な役目を果たした。

今回は、ソーシャルネットワーキングサービス (SNS)のうち、ツイッターとフェイスブックを中心に学習。



フェイスブックでの連帯を呼び掛けるエジプトのデモ参加者：2011年1月(wikipedia)

■お気軽なツイッター

「つぶやき」の意味で、2006年にアメリカで始まった。1回で投稿できる文字数が140字以内。友人や気になる人をお気に入りとして登録することをフォロー（フォローする）と言い、その人たちの書き込みが自分のホームページにリアルタイムで表示される。携帯端末で簡単にメッセージを発信できるので学生や若者に人気。瞬時に世の中の動きをつかむことができるので、マスメディアも積極的に参加。メッセージをフォロワー達がRT（リツイート）して、引用し、ねずみ

算的に広げることで、流行をつくったり世論を動かしたりすることができるのだ。不特定多数の人と簡単につながり、結びつきも緩いので気軽に交流ができる。

■実名など個人情報を詳細に登録するフェイスブック

ツイッターより後発のSNS、現在最も世界に広がっている。ハーバード大学の学生だったマーク・ザッカーバーグ氏が2004年に立ち上げ、一般にも開放されて急拡大。これは、自分のページを持ち、プロフィールや関心のある事柄などを登録する。投稿した文字情報や写真は瞬時にフェイスブック内の「友達」のホームページにも表示され、お互いの様子や発言などが同時に把握できる。写真ベースの話題提供が簡単で友人の掲載した写真や記事に、気軽に『いいね (I like it.)』のボタンを押すことで、スピーディーに反応を伝えることができる。

■「ユーチューブ」(Youtube) の動画サイトを使って実践

「ユーチューブ」はナンデモゴザレ！

紙面の都合でツイッターを例に挙げると、名前・ユーザー名・パスワード・メールアドレスを登録し、フォローをすべて選択すると登録は完了。あとは、つぶやきを入力し「友達検索」で自分の興味ある人や情報をどんどんフォローすればよい。なるほどユーチューブを見るとわかりやすい。飯塚さんは他の入門もみせてくれた。「ユーチューブ」はノウハウ／コツのホームラン王なのだ！

ちなみに文責者・平井は早速フェイスブックに登録。と言ってもとりあえずは息子と娘との「上並榎ネットワーク」のみ。どう利用したらよいのか？ 《文責・平井 敏久》